

2023 年 12 月 13 日

2023 年 11 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は仕事量の減少もあり、小ロット物件が中心で前年を下回った。

巻取は学参、生損保、チラシに動きがあり、前年を上回った。

（前年比 平判 92.5% 巻取 114.5%）

再生紙平判は入札案件の受注増加及び在庫状況の改善も見られたことにより前年を上回った。

再生紙巻取も定期物件に加え、入札案件の増加により前年を上回った。

（前年比 再生上質平判 115.2% 再生上質巻取 108.6% 再生上質計 111.7%）

（前年比 印刷用紙 A 全体 96.1%）

（2019 年比 印刷用紙 A 計 79.7%）

<A2 コート>

平判は国内旅行とインバウンド需要の拡大による旅行パンフや観光地チラシの動きは安定している。一方で、雑誌の広告ページ減や制作コスト削減に伴うページ減の動きは続いている。また、カタログ、チラシにおいてネットへの電子化の動きもあり、グロス、マット共に前年を下回った。

巻取は通販、食品デリバリーで一部動きが見られたが、不動産チラシ、カタログ、定期雑誌においては落ち込みが続いており、マットは前年を上回ったがグロスは大幅に下回った。

（前年比 平判 92.7% 巻取 96.5% 全体 93.4%）

（2019 年比 A2 コート計 75.8%）

<A3 コート>

旅行、食品デリバリー、スーパー、ドラッグストア、イベントのスポット案件のチラシで動きが見られたが、学習塾、金融・生損保、商品チラシでの大幅な落ち込みが続いており、平判、巻取共に前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 89.7% 巻取 68.2% 全体 74.0%）

（2019 年比 A3 コート計 57.5%）

<ノーカーボン紙>

平判はインボイス絡みの帳票の動きが一段落し、巻取は生損保関連の動きが非常に低調。コロナワクチン予診票案件の動きも見られず、巻・平共に前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 82.5% 巻取 73.4%）

＜上質フォーム＞

株主総会関連の動きは減少傾向だが、大きな落ち込みとはならなかった。ただ、前年あった官公庁からの通知物などスポット案件の動きもなく、前年を大幅に下回った。

（前年比 72.2%）

＜包装用紙＞

役所向け封筒、企業向け封筒の全般的な需要減に歯止めがかからず、特殊両更(前年比 64.9%)、片艶晒(前年比 84.4%)、両更晒(84.9%)と、各品種とも大幅に前年を下回った。

軽包装は製本会社向け雑包装用途の動きが鈍く、前年を大きく下回った。

（前年比 83.5%）

純白ロールは大型商業施設、スーパーマーケット向けの包装紙や年賀向けの包装紙に動きは見られたが、好調だった前年を大きく下回った。

（前年比 80.4%）

包装紙全体でも 81.7%と前年を大きく下回った。

＜板紙＞

コートボールは物価高騰や昨年の価格修正の仮需の影響からか、ティッシュや医薬関連、日用品も低調で、食品のスポットも少なかった。高板のトレーディングカード向けも堅調だが需要が一巡した感があり落ち着いている。特板は化粧品や POP 向けなども減少傾向で振るわなかった。チップボールはエンタメ系の DVD などで一部スポットの動きが見られたが、全体を押し上げるほどではなく昨年を下回った。

（前年比 93.3%）